

◆ 第九章 男女共同参画に対する意識調査 ◆

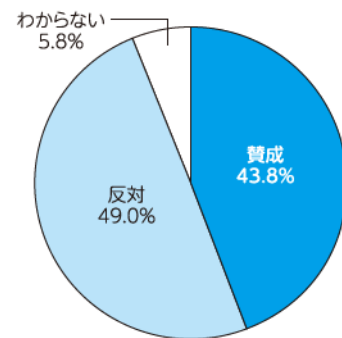
⑤3 「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成？ 反対？

男女共同参画意識調査(各市町調査)

- 賛成
- 反対
- わからない・その他
- どちらともいえない

※市町によって異なるものを上記4つに分類してあります
詳しくは出典元を参照

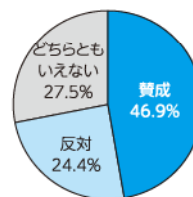
三重県全体



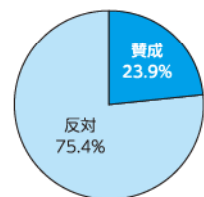
どの市町も実際には
詳しい聞き方をしています

- (例)
- ・賛成 ・どちらかといえば賛成
 - ・反対 ・どちらかといえば反対
 - ・わからない など…

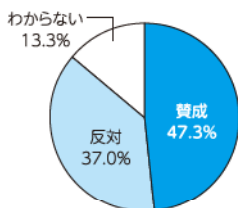
⑪伊賀市



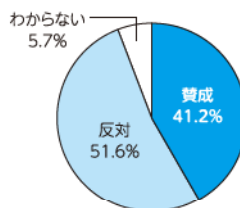
⑫名張市



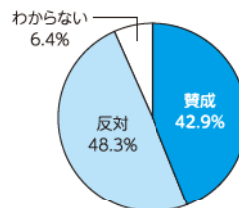
⑬津市



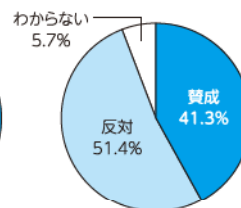
⑭松阪市



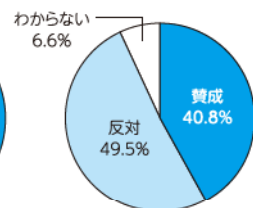
⑮多気町



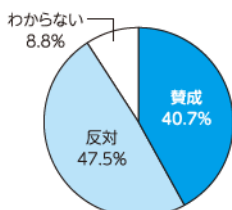
⑯明和町



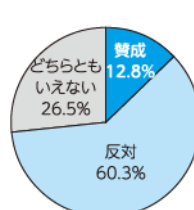
⑰大台町



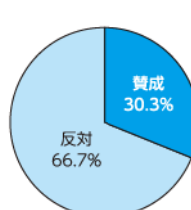
⑲紀北町



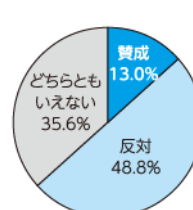
⑳尾鷲市



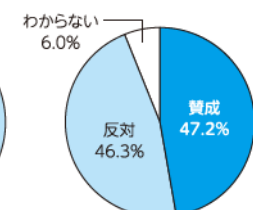
㉑熊野市

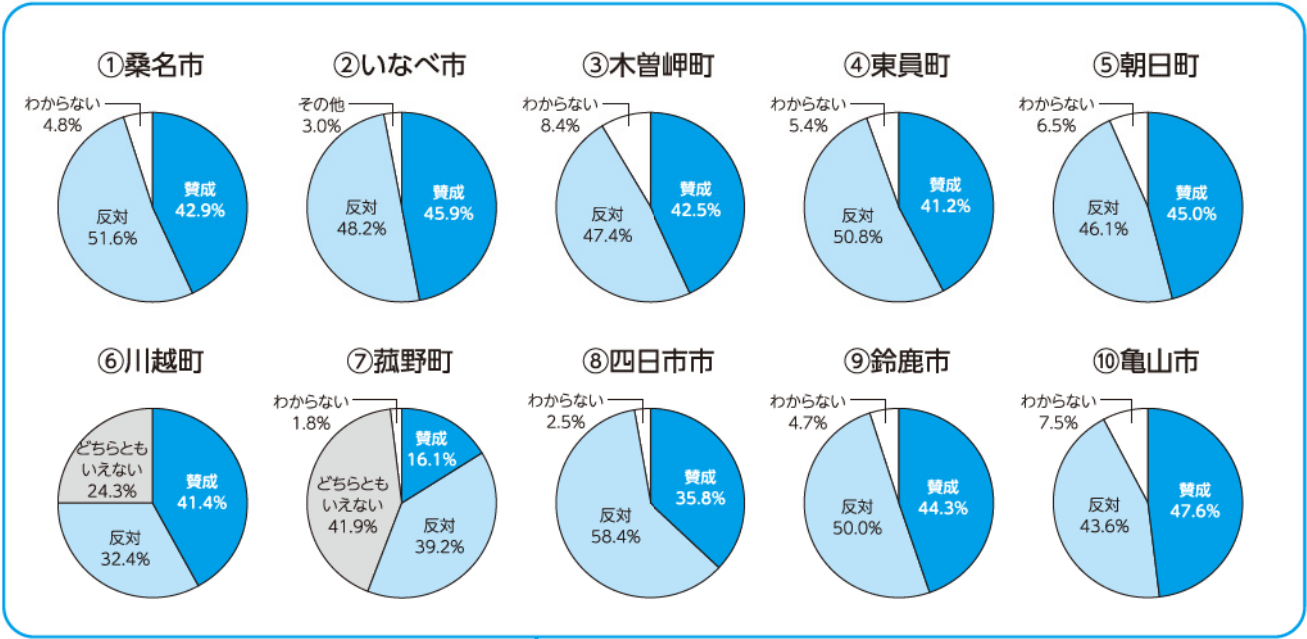


㉒御浜町

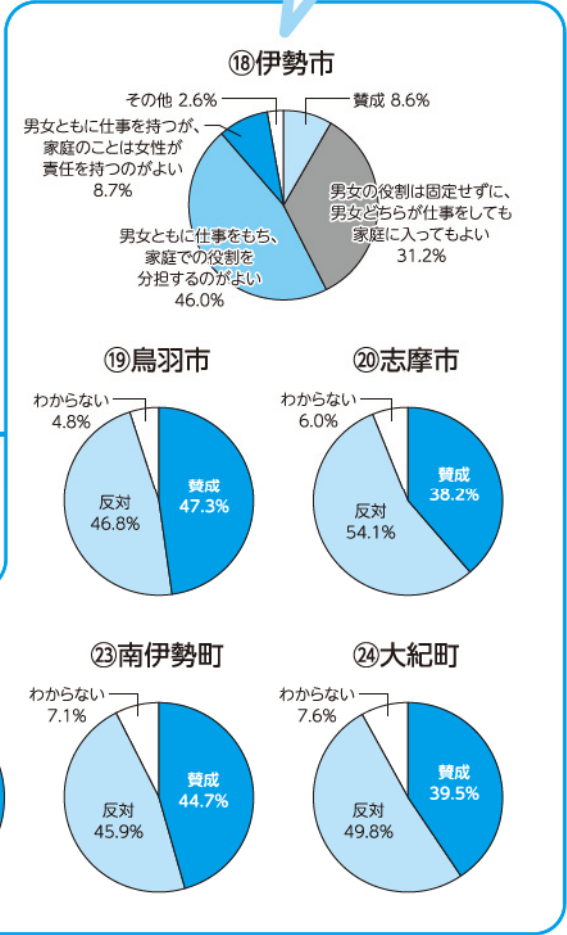
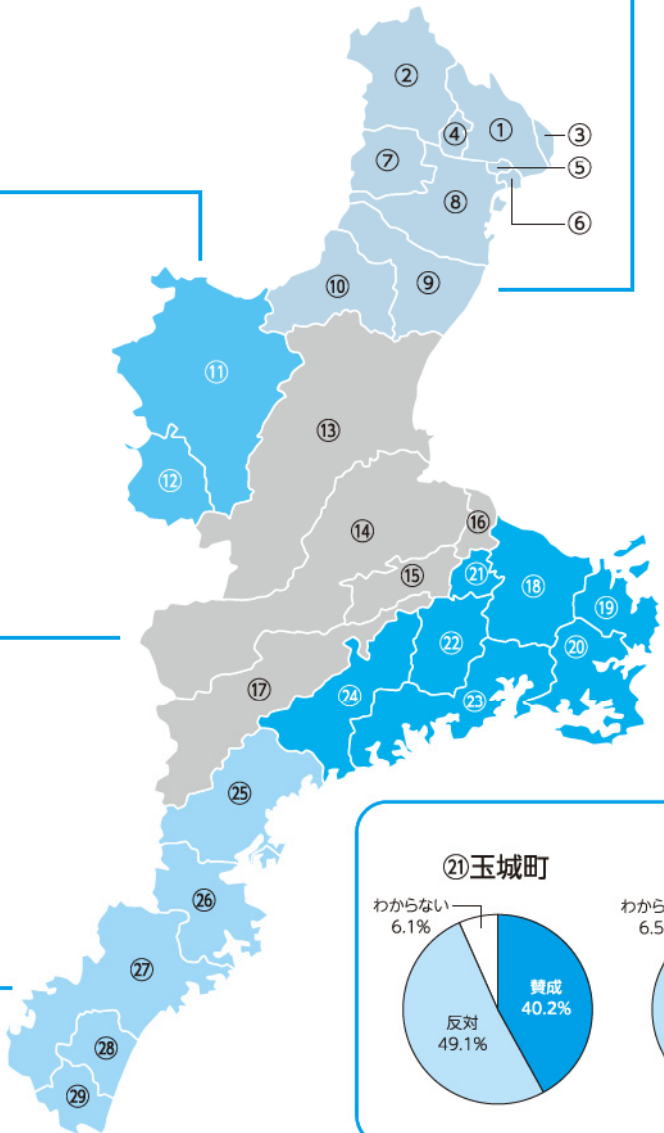


㉓紀宝町



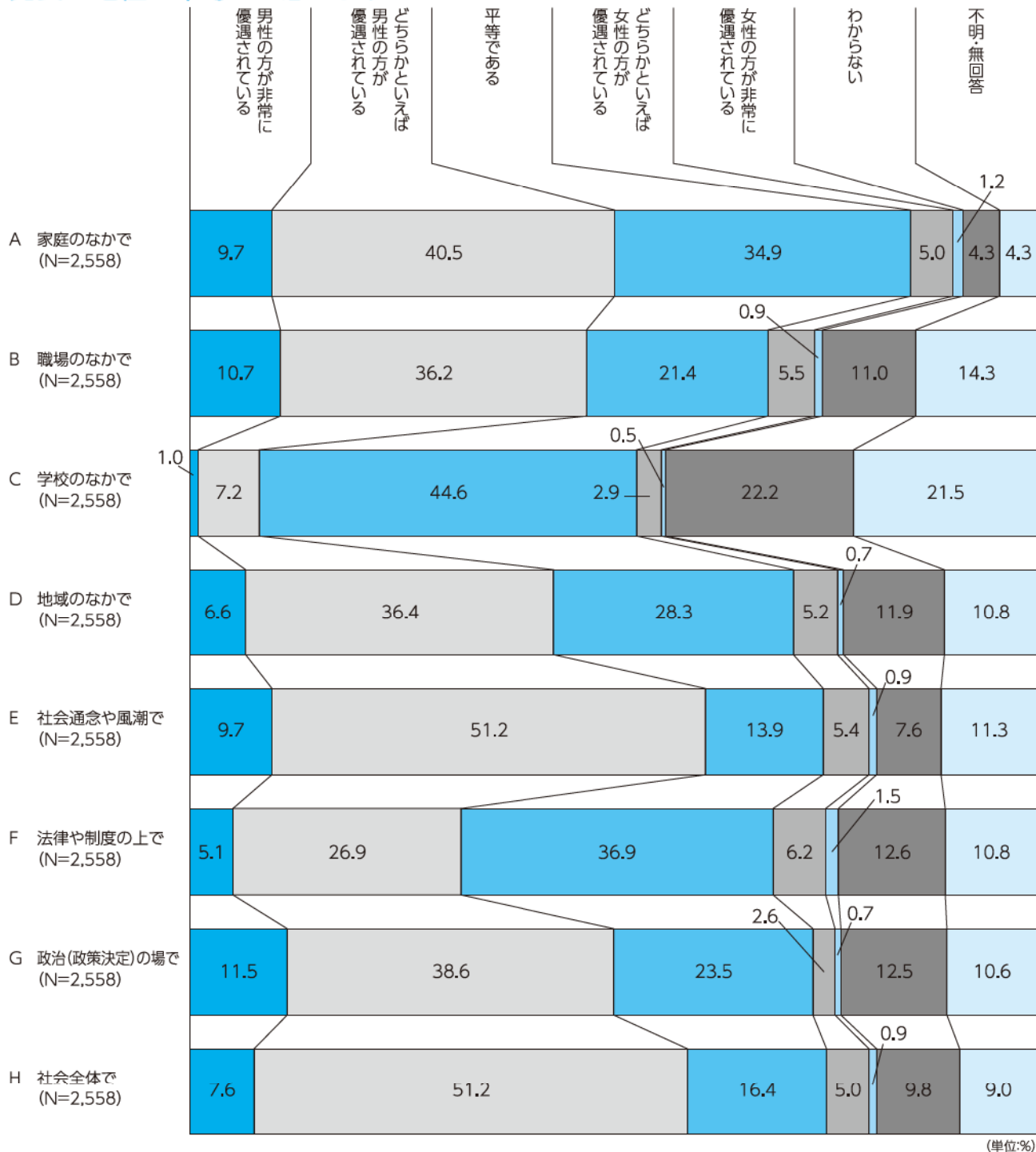


※注
伊勢市は他市町に比べ
大きく異なる聞き方をしているため、
項目を詳しく掲載しました



⑤4男女の平等感について(三重県、2009年)

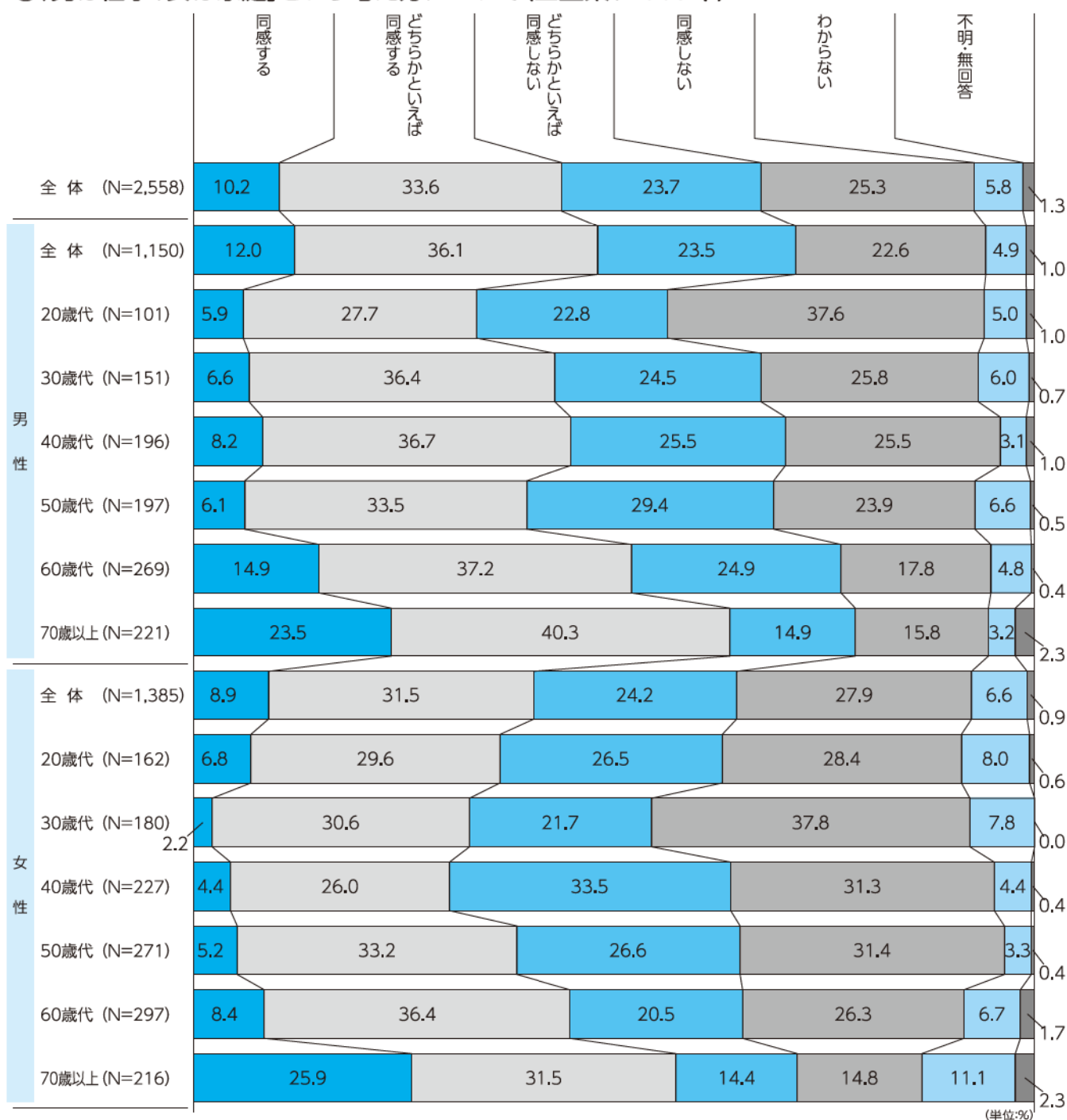
男女の地位は平等だと思いますか?



分野別比較では、「C 学校のなかで」と「F 法律や制度の上で」のみ「平等である」の割合が最も高いが、それ以外の分野では「男性の方が優遇されている」と答えた割合が高くなっています。特に「E 社会通念や風潮で」では6割以上、「A 家庭のなかで」「G 政治(政策決定)の場で」「H 社会全体で」では5割以上の方が「男性の方が優遇されている」と答えています。「C 学校のなかで」は、「平等である」と答えた人の割合が44.6%と最も高い値となっています。

※ 「男性の方が優遇されている」は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計したものの。また、「女性の方が優遇されている」は「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものの。

⑤「男は仕事、女は家庭」という考え方について(三重県、2009年)



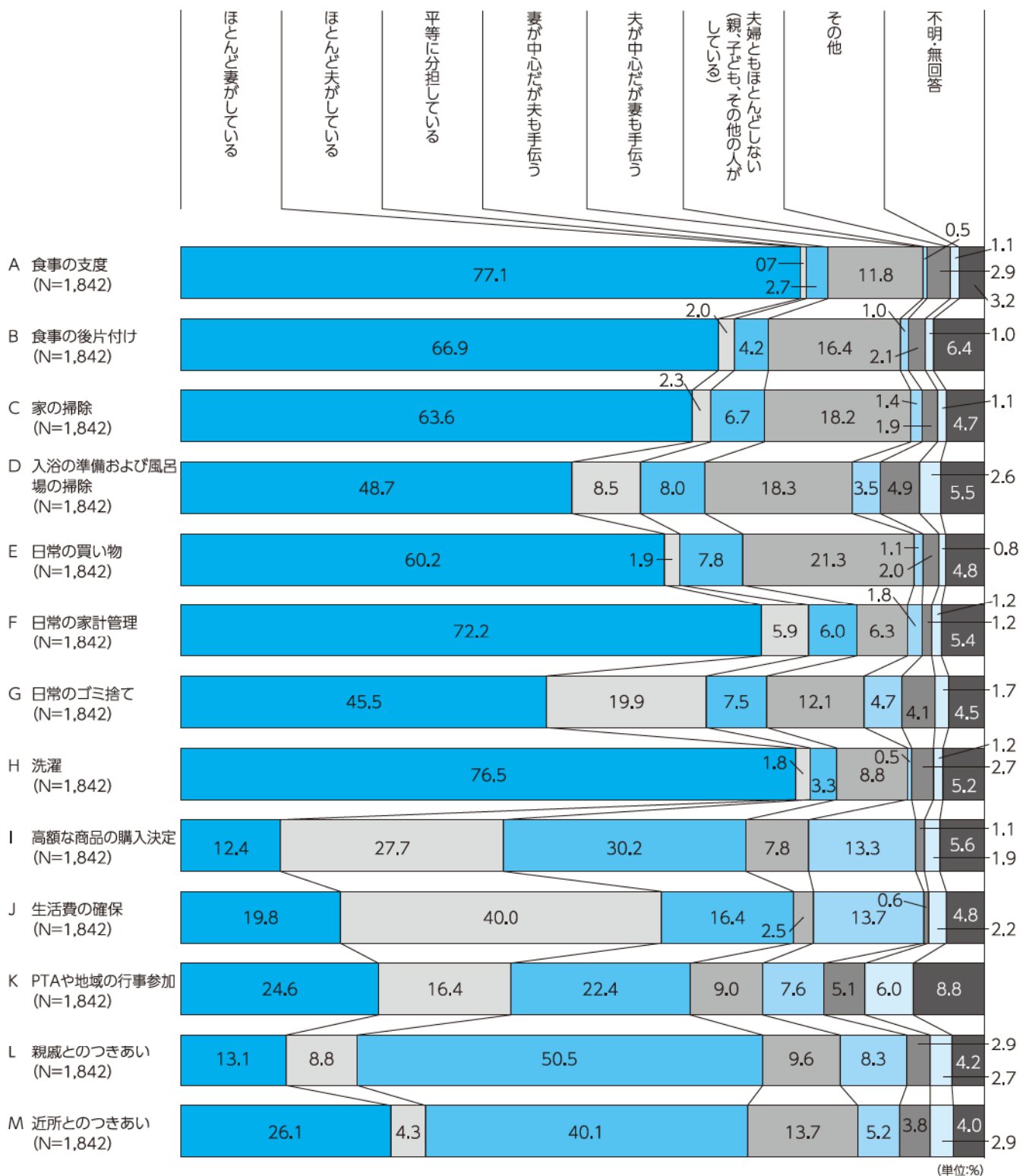
全体では、『同感する』と答えた人の割合は43.8%で『同感しない』(49.0%)より低い結果となっていますが、男性については『同感する』(48.1%)が『同感しない』(46.1%)を2.0%上回っています。女性は『同感しない』が52.1%で5割を超え、『同感する』(40.4%)を上回っています。

性別／年齢層別でみると、『同感する』と答えた人の割合は、70歳以上の男性が63.8%、女性が57.4%と、いずれも他の年齢層より高くなっています。

『同感しない』と答えた人は女性の40歳代が(64.8%)最も高く、次いで男性の20歳代(60.4%)、女性の30歳代(59.5%)となっています。

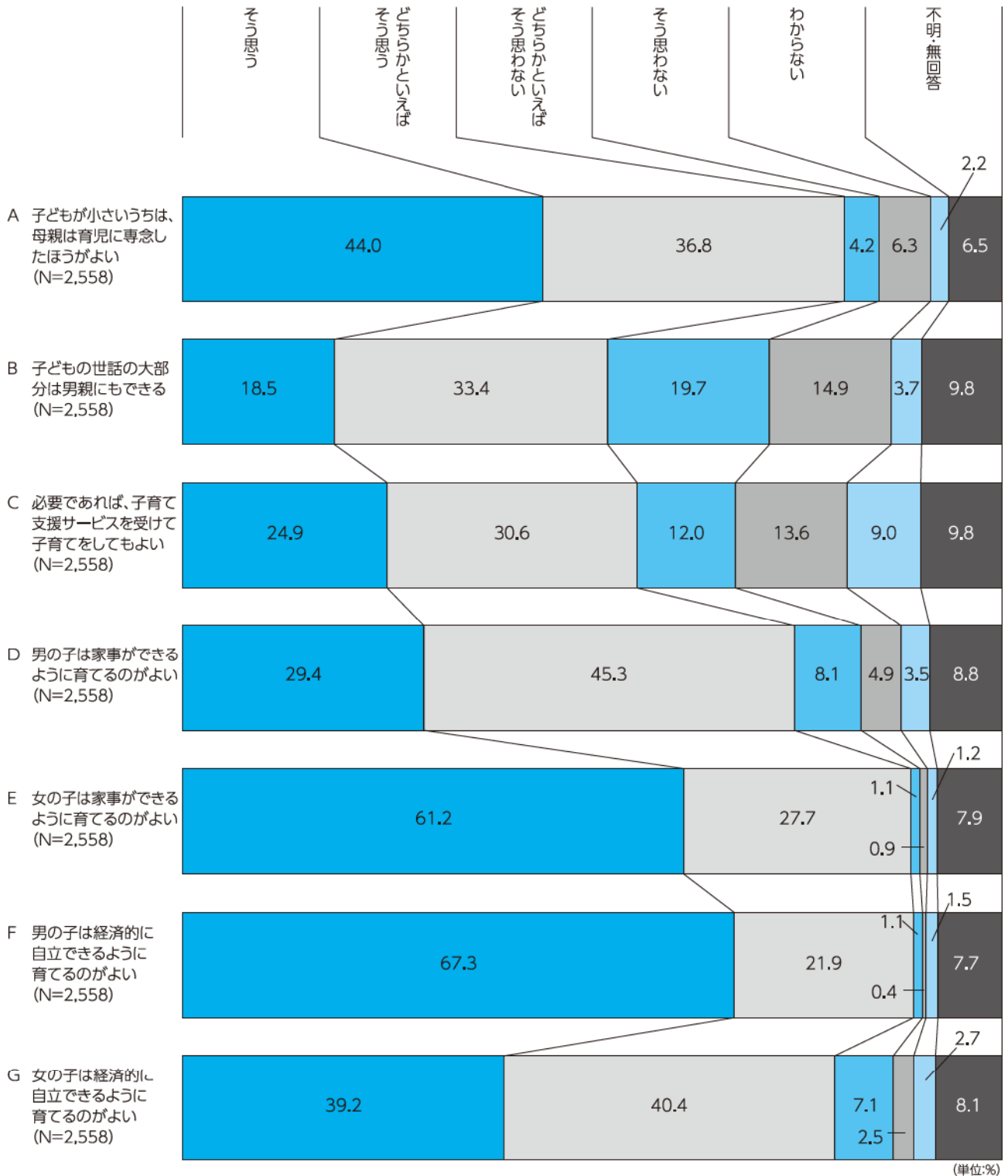
※『同感する』は本来の選択肢の『同感する』『どちらかといえば同感する』の割合を合計したものの。また、『同感しない』は『同感しない』『どちらかといえば同感しない』の割合を合計したものの。

⑤6 夫婦間での家事等の役割分担について(三重県、2009年)



各項目をみると、A~Hまでは「ほとんど妻がしている」と答えた人の割合が高く、特に「A 食事の支度」(77.1%)「H 洗濯」(76.5%)「F 日常の家計管理」(72.2%)はいずれも7割を超える結果となっています。「ほとんど夫がしている」の割合が高かったのは「J 生活費の確保」(40.0%)。また、「平等に分担している」の割合が最も高かったのは「L 親戚とのつきあい」(50.5%)となっています。

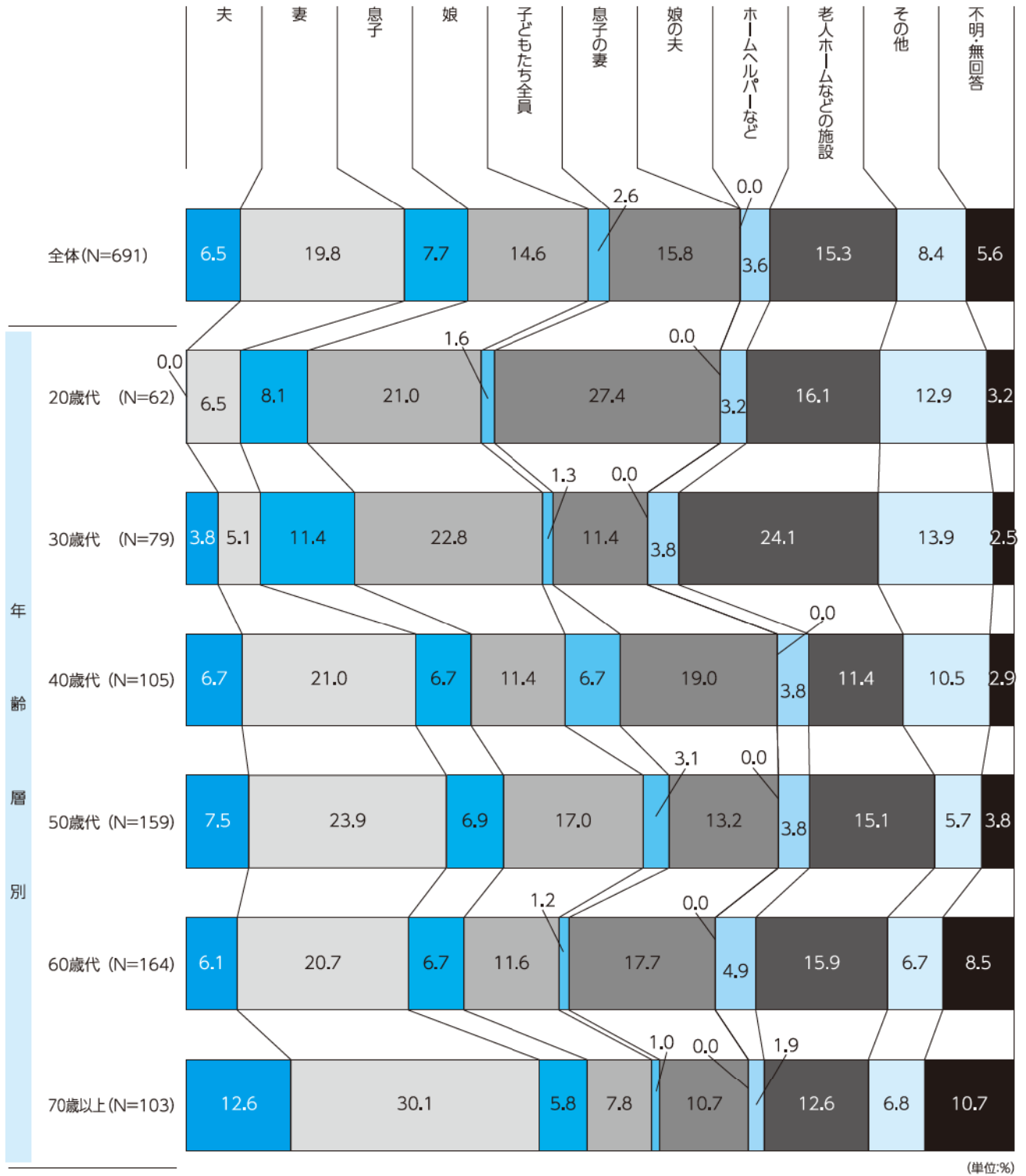
⑤7 子育てに関する考え方について(三重県、2009年)



各項目の中で『そう思う』と答えた割合が高かったのは、「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」(89.2%)、次いで「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」(88.9%)です。『そう思わない』と答えた割合が高かったのは、「B 子どもの世話の大部分は男親にもできる」(34.6%)、続いて「C 必要であれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」(25.6%)となっています。

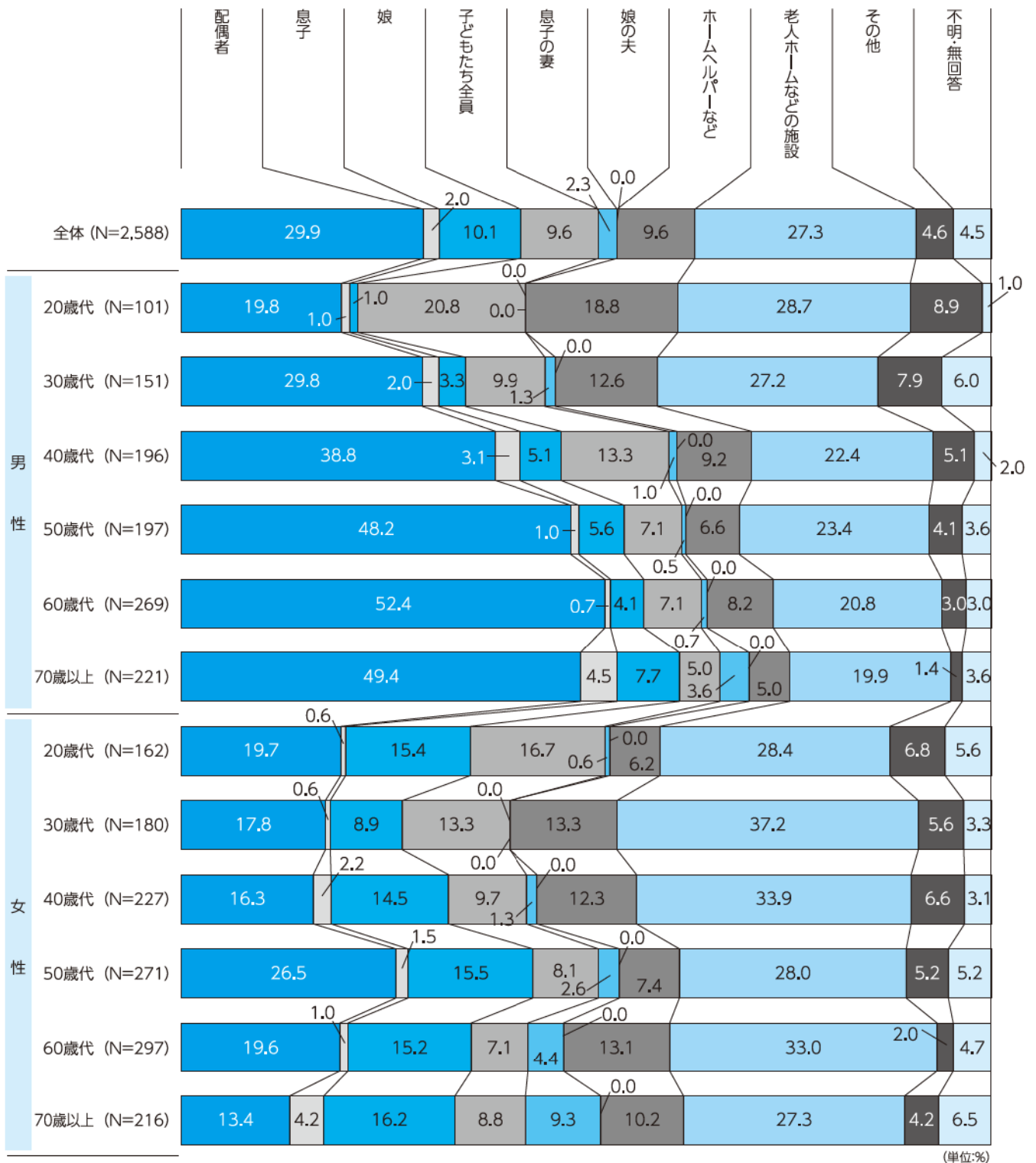
※ 「そう思う」は、本来の選択肢の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものの。また、「そう思わない」は「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合を合計したものの。

⑤8主に高齢者の世話をしている人(三重県、2009年)



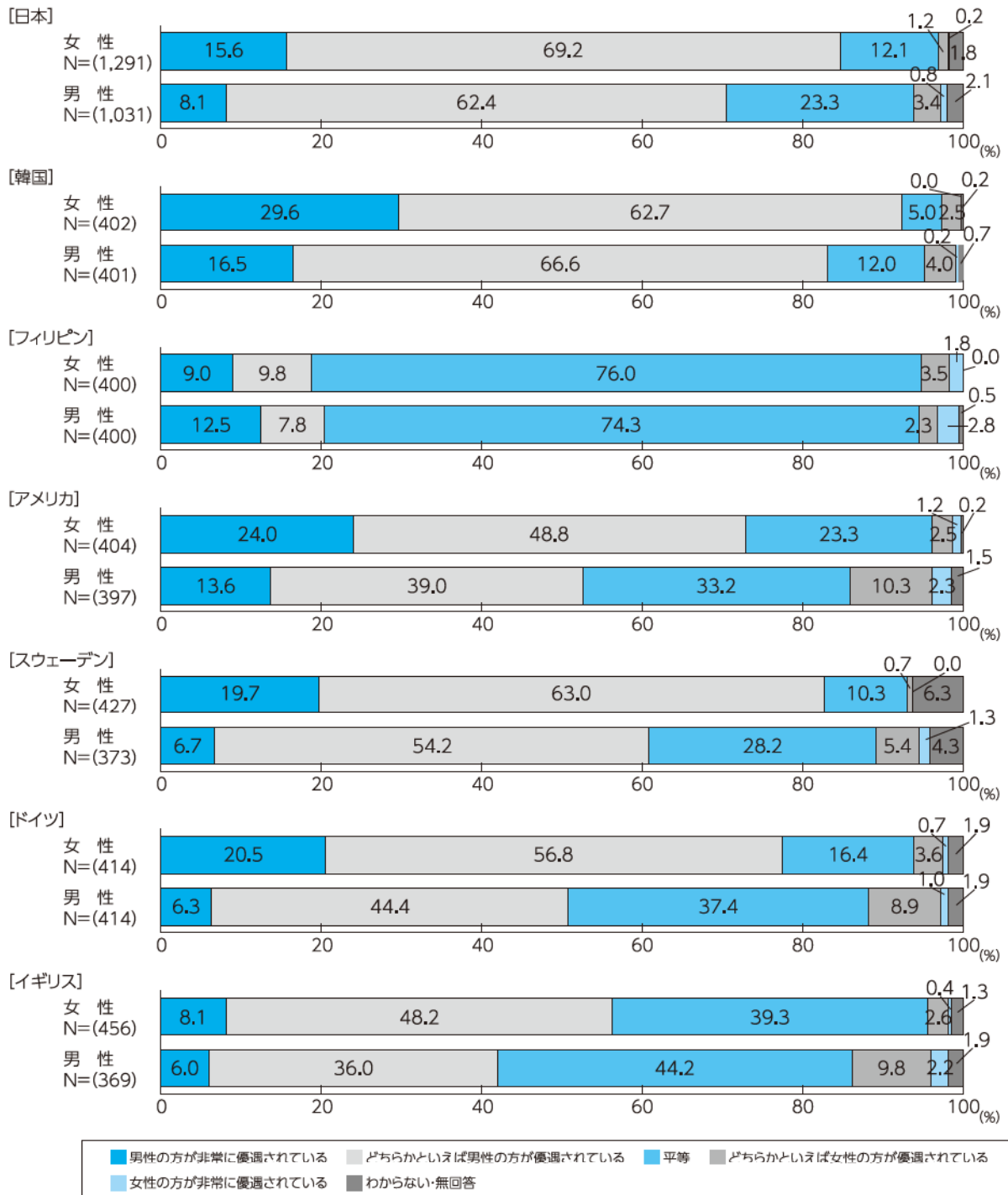
どの年齢層でも「娘」と答えた人が「息子」と答えた人の割合より高く、全体では約2倍となっています。また、「妻」と答えた人は40歳代以上では2割を超える状況です。

⑤9 将来誰に介護されたいか(三重県、2009年)



全体では、「配偶者」と答えた人の割合が高く29.9%、続いて「老人ホームなどの施設」が27.3%となっています。性別／年齢層別でみると、男性の20歳代、および女性の全年齢層で「老人ホームなどの施設」の割合が最も高くなっており、「配偶者」の割合は全年齢層において男性が女性を上回っています。20歳代の男性および女性では、「配偶者」「老人ホームなどの施設」に続いて「子どもたち全員」と答えた人の割合が、男性で20.8%、女性で16.7%と高くなっています。

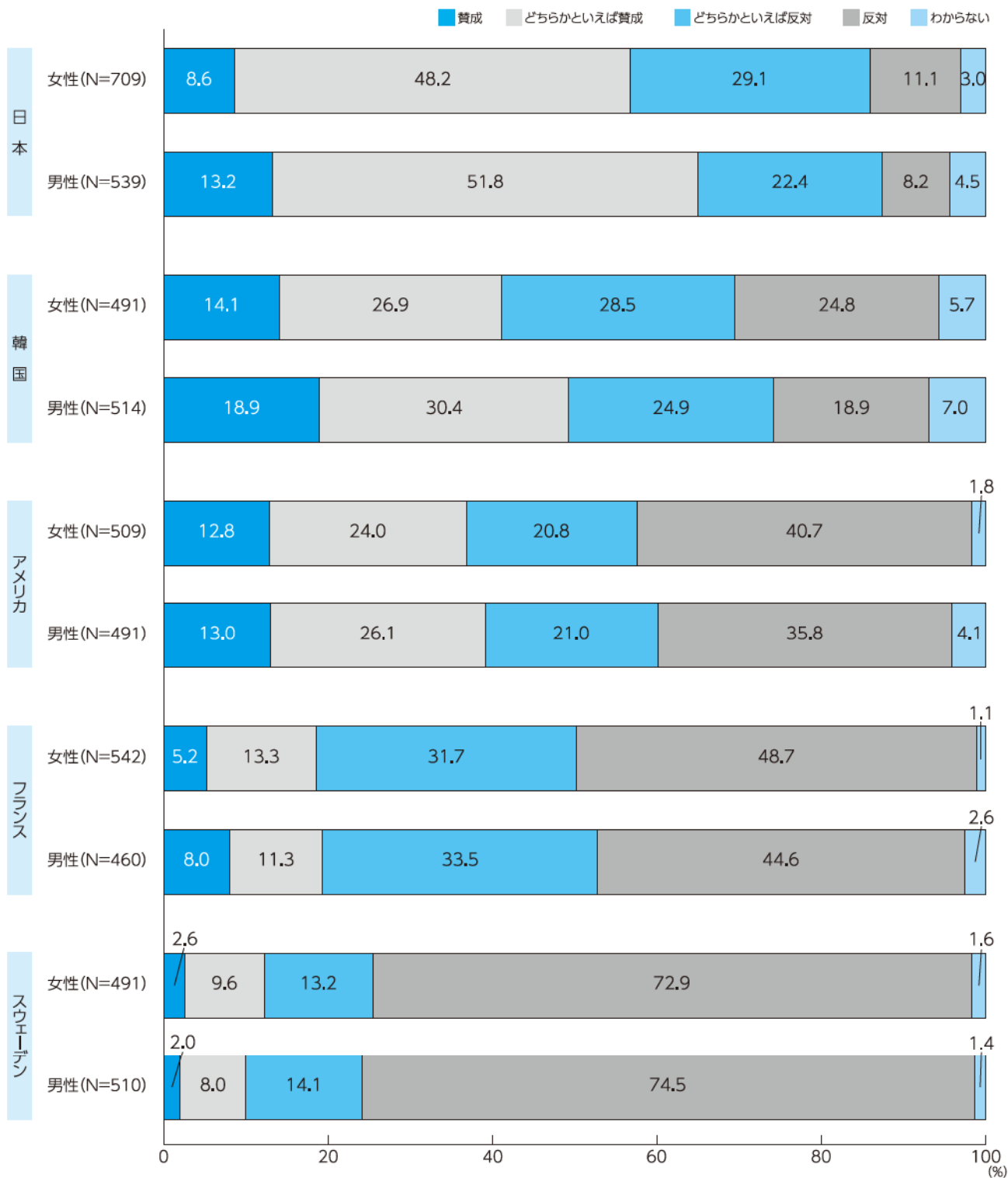
⑥0 男女の平等感について(国際比較、2002年)



『男性のほうが優遇されている』と答えた人の割合が高かったのは「韓国」で、女性が92.3%、男性が83.1%でした。「日本」の女性(84.8%)、「スウェーデン」の女性(82.7%)も高い値となっています。一方、『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合が最も高かったのは「アメリカ」の男性(12.6%)、次いで「イギリス」の男性(12.0%)でした。『平等』の割合は女性より男性の方が高い値の国が多い中、「フィリピン」は女性の方が高く、男女ともに75%前後と非常に高い割合となっています。

※ 『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計したもの。また、『女性の方が優遇されている』は「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したもの。

⑥「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方(国際比較、2010年)



『賛成』と答えた人の割合が高かったのは「日本」の男性で65.0%、女性が56.8%です。続いて「韓国」の男性(49.3%)、女性(41.0%)と続いています。『反対』と答えた人の割合が高かったのは「スウェーデン」で、男性(88.6%)、女性(86.1%)と非常に高い値を示しています。

※ 「賛成」は、本来の選択肢の「賛成」「どちらかといえば賛成」の割合を合計したもの。また、「反対」は「反対」「どちらかといえば反対」の割合を合計したもの。